

令和5年度 事業実施報告書

令和6年3月31日現在

社会福祉法人

加古川市社会福祉協議会

目次

1. 住民主体のお互いさまの地域づくり P.1
 - 1) 生活支援体制整備事〈市受託事業〉
 - 2) ふれあいサロン支援事業
 - 3) 支部活動への支援

2. 認め合い、ささえあいの輪が広がる人づくり P.11
 - 1) ボランティア情報の発信
 - 2) ボランティア養成・研修
 - 3) コーディネート事業
 - 4) 活動基盤づくり事業
 - 5) 他機関・他団体との連携
 - 6) 福祉学習推進事業
 - 7) 社会教育・福祉教育推進員活動支援（市教委との協働事業）
 - 8) 市民福祉カレッジ
 - 9) 災害対応支援
 - 10) 障がい児・者及び団体へ支援
 - 11) 社会福祉活動助成金事業
 - 12) 子育て支援事業
 - 13) こども居場所づくり推進事業〈新規 市受託事業〉
 - 14) 児童・青少年活動支援
 - 15) 高齢者福祉活動支援

3. 誰もが安心して相談できる支援ネットワークづくり P.18
 - 1) 成年後見支援センター事業〈市受託事業〉
 - 2) 日常生活自立支援事業〈県社協受託事業〉
 - 3) 生活福祉資金貸付事業〈県社協受託事業〉
 - 4) 計画相談支援事業（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）
 - 5) 総合相談事業
 - 6) 基幹相談支援センター事業〈市受託事業〉

4. 社会福祉協議会の機能強化に向けた基盤づくり P.25

- 1) 組織体制の強化
- 2) 財源の確保と有効活用
- 3) 公的事業の積極的受託
- 4) 広報力の強化による社協活動のPR
- 5) 職員養成による組織力の強化
- 6) 地域福祉推進計画の推進
- 7) 総合福社会館の指定管理業務
- 8) トライやるウィーク及び実習生受け入れ



重点目標 1

住民主体のお互いさまの地域づくり

- (1) 地域行事（活動）への参加を住民へ呼びかけ、参加を通じてつながりづくりの大切さを伝えます。
- (2) 広報、情報紙、小地域福祉活動事業、ささえあい協議会活動を通じて、身近な者同士のつながりづくりの大切さを啓発します。
- (3) 地域活動を切り口に、地縁組織(町内会)が中心となって、身近な住民同士がささえあう体制づくりを進めます。
- (4) 町内会、民生委員・児童委員、ボランティア等が実施するつどい場と連携し、地域ぐるみの見守り体制づくりを進めます。
- (5) ささえあい協議会を通じて、様々な社会資源を広報、情報紙、チラシ等で情報発信していきます。
- (6) 各エリアの住民課題をささえあい協議会で協議し、課題を解決するしくみづくりを進めます。

1. 住民主体のお互いさまの地域づくり

- ・身近な地域での住民同士のつながりを大切にし、住民主体のささえあい活動を進めます。
- ・地域の社会資源をつなぎ、多様な主体が協働するまちづくりを進めます。

事業項目	実施内容
<p>1) 生活支援体制整備事業 〈市受託事業〉</p> <p>①協議体の設置</p> <p>②ささえあい協議会開催状況 氷丘地区</p>	<p>市内概ね中学校区を生活支援体制整備事業の第2層圏域とし、町内会連合会や地区民生児童委員協議会をはじめ、地域の福祉施設や民間事業所、ボランティアなどの多様な主体が参画し、エリアごとに住民主体のささえあいのまちづくりを進めた。</p> <p>地域の福祉課題や住民が抱える生活上の困りごとについて話し合う協議体（ささえあい協議会）を設置し、参画する団体相互のネットワークを活かし課題解決に向けて取り組んだ。（以下設立年度と協議会名）</p> <p>〈平成29年度〉 氷丘地区、別府町 〈平成30年度〉 両荘地区、志方町 〈令和元年度〉 平岡公民館エリア、野口公民館エリア 〈令和2年度〉 加古川地区、尾上町 〈令和3年度〉 加古川北地区、加古川西公民館エリア 〈令和4年度〉 野口北地区、かこてらすエリア</p> <p>第1回 令和5年4月18日（火） ・通院サポート「ひおCar」について ・令和5年度の取り組みについて</p> <p>第2回 令和5年6月23日（金） ・通院サポート「ひおCar」について ・中学生へのアンケート結果について ・氷丘まつりについて</p> <p>第3回 令和5年8月8日（火） ・通院サポート「ひおCar」について ・氷丘まつりについて</p> <p>第4回 令和5年10月11日（水） ・通院サポート「ひおCar」について ・氷丘まつり振り返りについて</p> <p>第5回 令和5年12月5日（火） ・通院サポート「ひおCar」運行状況について ・合同研修会に向けて「新・助け合いゲーム」体験</p> <p>第6回 令和6年1月17日（水） ・通院サポート「ひおCar」運行状況について ・合同研修会の開催に向けて</p> <p>第7回 令和6年2月28日（水） ・氷丘ささえあい研修会の実施について</p> <p>●氷丘ワーキンググループ</p> <p>第1回 令和5年6月13日（火） ・通院サポート「ひおCar」について ・中学生アンケートについて</p>

事業項目	実施内容
	第2回 令和5年10月3日(火) ・通院サポート「ひおCar」活動について(意見交換) 別府町 第1回 令和5年5月24日(水) ・今後の方向性について 第2回 令和5年7月11日(火) ・ふらっとカフェについて ・事業所と地域住民の顔の見える関係性づくりについて 第3回 令和5年9月5日(火) ・浜風カフェ、秋風交流フェスティバルについて ・事業所と地域住民の顔の見える関係性づくりについて 第4回 令和6年1月30日(火) ・浜風カフェ、秋風交流フェスティバルについて ・おたがいさまサロンのふりかえりについて ・事業所と地域住民の顔の見える関係性づくりについて ●別府地区ワーキンググループ(事業所ネットワーク会議) 第1回 令和5年4月25日(火) ・別府町ささえあい協議会について ・事業所ネットワーク会議の経緯及び方向性について 第2回 令和5年7月10日(月) ・ささえあい協議会との連携について ・おたがいさまサロンへの協力について 第3回 令和5年8月29日(火) ・秋風フェスティバルへの参加について ・事業所ネットワークの開催について
	両荘地区 第1回 令和5年5月31日(水) ・研修会に向けて ・「ふれあいマーケット」について 第2回 令和5年7月24日(月) ・研修会の振り返り ・「ふれあいマーケット」に向けて 第3回 令和5年9月4日(月) ・「ふれあいマーケット」に向けて 第4回 令和5年12月11日(月) ・「ふれあいマーケット」の振り返り ・見守り、ささえあい活動の現状と今後の展開について 第5回 令和6年3月11日(月) ・見守り、ささえあい活動の現状と今後の展開について ・カードゲーム「木(気)になる輪(わ)」の体験 ●両荘地区ワーキンググループ 第1回 令和5年10月25日(水) ・「ふれあいマーケット」について
志方町	第1回 令和5年5月22日(月) ・住民による見守り活動について考える ・移動支援について考える


事業項目	実施内容	
平岡公民館エリア	第2回 令和5年8月21日(月) ・移動支援について考える ・見守り活動、研修会の今後の取り組みについて	
	第3回 令和5年12月19日(火) ・上ノ町敬老会行事の送迎支援の取り組みについて ・ふれあいフェスタ参加報告と今後の取り組みについて	
	第4回 令和6年3月7日(木) ・志方町送迎支援システムについて ・今後のささえあい協議会での取り組み(意見交換)	
	第1回 令和5年4月11日(火) ・情報発信による介護予防支援を考える、次号チラシ作成について	
	第2回 令和5年7月25日(火) ・大きなつどい場づくりの具体化、協議会だよりの今後の発行について	
	第3回 令和5年9月26日(火) ・大きなつどい当日任務分担確認後、第2回大きなつどい場開催日程について	
	第4回 令和6年1月23日(火) ・第1回大きなつどい場の開催の振り返り ・第2回大きなつどい場開催に向けて	
	●平岡公民館エリアワーキンググループ	
	第1回 令和5年8月28日(火) ・大きなつどい場(各団体の企画内容) ・大きなつどい場(広報、周知方法)	
	第2回 令和5年9月14日(水) ・大きなつどい場(広報、周知方法) ・次回実行委員会開催日程について	
	第3回 令和6年1月15日(月) ・第1回 大きなつどい場の振り返り ・第2回 大きなつどい場の開催に向けて	
	野口公民館エリア	第1回 令和5年6月29日(木) ・つどい場の開催状況 ・令和5年度の取り組みについて
		第2回 令和5年8月24日(木) ・つどい場の開催状況 ・第24回野口福祉まつり
		第3回 令和5年11月16日(木) ・野口福祉まつりの振り返り ・つどい場開催状況について ・次年度の取り組みに向けての意見交換
第4回 令和6年2月26日(月) ・つどい場開催状況について ・次年度の取り組みについて		


事業項目	実施内容
<p>加古川地区</p>	<p>第1回 令和5年6月12日(月) ・「ほほえみスペース」を広報する方法を考えよう</p> <p>第2回 令和5年10月30日(月) ・上半期の「ほほえみスペース」啓発活動の報告 ・「ほほえみスペース」の広報について ・「ほほえみスペース」今後の展開について</p> <p>第3回 令和5年12月14日(木) ・「ほほえみスペース」の具体的な取り組みについて</p> <p>●加古川地区ワーキンググループ</p> <p>第1回 令和5年8月14日(月) ・しのはら納涼福引大会「ほほえみスペース」出店について</p> <p>第2回 令和5年10月18日(水) ・しのはら納涼福引大会「ほほえみスペース」出店の振り返り ・今後の「ほほえみスペース」の展開について</p> <p>第3回 令和5年11月15日(水) ・「ほほえみスペース」の具体的な取り組みについて</p> <p>第4回 令和6年1月19日(木) ・つどい場「ほほえみスペース」開催に向けて</p> <p>第5回 令和6年2月5日(月) ・つどい場「ほほえみスペース」開催に向けて</p>
<p>尾上町</p>	<p>第1回 令和5年6月8日(木) ・「粗大ごみ搬出お手伝い」のチラシ啓発について ・防災の取り組みについて</p> <p>第2回 令和5年8月31日(木) ・防災の取り組みについて</p> <p>第3回 令和5年10月27日(木) ・「粗大ごみ搬出お手伝い」の現況について ・防災の取り組みについて</p> <p>第4回 令和6年2月8日(木) ・防災についての取り組みについて ・「粗大ごみ搬出お手伝い」案内について</p>
<p>加古川北</p>	<p>第1回 令和5年6月19日(月) ・神野町、新神野、八幡地区それぞれの取り組みについて ・3町それぞれの活動について</p> <p>第2回 令和5年12月4日(月) ・前回の振り返り ・神野町、新神野、八幡地区の取り組みについて ・今後の取り組みについて</p>

事業項目	実施内容
	<p>●神野町ワーキンググループ① 令和5年4月17日(月) ・加古川北ささえあい協議会について ・移動支援について ・「通いの場づくり」「困りごとを相談できる場づくり」について</p> <p>●神野町ワーキンググループ② 令和5年7月11日(火) ・第1回加古川北ささえあい協議会意見交換について ・移動支援について ・「通いの場づくり」「困りごとを相談できる場づくり」について</p> <p>●神野町ワーキンググループ③ 令和5年9月6日(水) ・「移動支援について」 ・「通いの場づくり」「困りごとを相談できる場づくり」について ・神野まつりについて</p> <p>●神野町ワーキンググループ④ 令和6年2月7日(水) ・第2回加古川北ささえあい協議会の振り返り ・今後の取り組みの方向性について</p> <p>◆新神野ワーキンググループ① 令和5年4月13日(木) ・加古川北ささえあい協議会について ・6丁目町内会の燃やすごみ出し支援について ・今後の生活支援サービスについて ・住民同士の助け合いの啓発活動について ・買い物支援について</p> <p>◆新神野ワーキンググループ② 令和5年6月29日(木) ・第1回加古川北ささえあい協議会意見交換について ・陵北小学校児童作成による共助ポスターについて ・日常生活上の困りごとへの支援について ・住民同士の助け合いの啓発活動について ・秋開催のイベントについて</p> <p>◆新神野ワーキンググループ③ 令和5年12月18日(月) ・神野町、新神野、八幡地区の取り組みについて ・今後の取り組みの方向性について</p>

事業項目	実施内容
加古川西	<p>■八幡地区ワーキンググループ① 令和5年5月16日(火) ・第2回お試し版スマートフォン講座開催について ・地域ボランティアの募集について ・第3回八幡ふれあいウォーキング&カフェイベントについて</p> <p>■八幡地区ワーキンググループ② 令和5年8月22日(火) ・第1回加古川北ささえあい協議会意見交換について ・第2回お試し版スマートフォン講座開催について ・第3回八幡ふれあいウォーキング&カフェイベントについて ・地域ボランティアの募集について</p> <p>■八幡地区ワーキンググループ③ 令和5年10月17日(火) ・第3回八幡ふれあいウォーキング&カフェイベントの開催について ・地域ボランティアの募集について ・学校と地域との関わりについて</p> <p>■八幡地区ワーキンググループ④ 令和6年2月16日(金) ・第2回加古川北ささえあい協議会の振り返り ・今後の方向性について</p>
	<p>第1回 令和5年6月20日(火) ・かこにし健幸ウォーキングについて</p>
	<p>第2回 令和5年9月8日(金) ・かこにし健幸ウォーキングについて</p>
	<p>第3回 令和5年10月24日(火) ・かこにし健幸ウォーキングについて</p>
	<p>第4回 令和5年11月30日(木) ・かこにし健幸ウォーキングについて</p>
	<p>第5回 令和6年2月8日(木) ・かこにし健幸ウォーキングについて ・神吉八幡神社ふれあい交流会について ・米田町ふれあい交流会について</p>
	<p>◆加古川西公民館エリアワーキンググループ</p>
	<p>第1回 令和5年11月2日(木) ・第3回協議会のグループワークで出された各地区交流イベント内容を具体化する</p>
	<p>第2回 令和5年11月9日(木) ・第3回協議会のグループワークで出された各地区交流イベント内容を具体化する</p>
	<p>第3回 令和5年11月10日(金) ・第3回協議会のグループワークで出された各地区交流イベント内容を具体化する</p>

事業項目	実施内容
野口北地区	<p>第1回 令和5年5月8日(月) ・野口町北地区にあったらいいなを深掘りしよう</p> <p>第2回 令和5年8月2日(水) ・今後の取り組みについて</p> <p>第3回 令和5年11月8日(水) ・花浄院主催「加古川ハナ祭り～ぎゅっと地域密着～」の最終確認について ・今後の取り組みについて</p> <p>第4回 令和6年3月4日(月) ・花浄院主催「加古川ハナ祭り～ぎゅっと地域密着～」の共催について ・協議会主催「ボッチャを楽しむ会」の開催について</p>
かこてらすエリア	<p>第1回 令和5年5月12日(金) ・今年度のささえあい協議会の取り組みを決定し、その進め方について検討する</p> <p>第2回 令和5年7月5日(水) ・地域マップの作成について検討する</p> <p>第3回 令和5年9月20日(水) ・地域マップ掲載場所の選定とレイアウトについて</p> <p>第4回 令和6年2月21日(水) ・地域の現状について共有する</p> <p>●かこてらすエリアワーキンググループ①</p> <p>第1回 令和5年8月23日(水) ・地域マップに掲載する店舗や場所の検討をする</p>
③生活支援コーディネーターの配置	<p>ささえあい協議会ごとに生活支援コーディネーターを配置し、社会資源の調査や開発、関係団体間のネットワーク構築などに取り組み、住民と協力しながら誰もが安心して暮らせるまちづくりのサポート役として活動した。(6人配置)</p> <p>令和5年度から、経験のある生活支援コーディネーター2人を、リーダーとして配置し、新人コーディネーターの育成や、行政との定例ミーティングに参加して事業運営について調整するなどの役割を担った。</p>
④新たな福祉の担い手の養成	<p>氷丘地区</p> <p>・ささえあい協議会活動から見えてきた課題に対し、新たな担い手の養成を進めた。 (以下担い手による活動または、担い手養成の状況)</p> <p>・通院サポートひおCarは、運転・介助ボランティア10人で週2回を運行している。またボランティア交流会を実施し、ひおCarの運営についての意見交換をした。 (令和5年度利用者登録19人、85回運行、利用者延べ179人)</p>

事業項目	実施内容
別府町	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の取り組みに若い世代の意見を取り入れるため、氷丘中学校3年生を対象にアンケートを実施した。 ・広域型サロン「おたがいさまサロン」は、別府公民館にて年5回（5月、7月、9月、12月、3月）開催した。 ・事業所ネットワーク会議を3回開催し、事業所が地域貢献できる内容を検討し、事業所と地域住民の顔の見える関係づくりの一環として、「浜風カフェ」や「秋風交流フェスティバル」に協力した。
両荘地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が農作物等を出店する「ふれあいマーケット」の中で、体力測定やフレイルチェックを実施した。 ・つながりからまちづくりを推進するための「見守り・ささえあい研修会」を実施した。
野口公民館エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会メンバーやボランティアが、住民同士の顔の見えるつながりづくりの機会として、広域型のつどい場を月1回開催した。次年度からは参加者の自主運営で毎週開催まで発展させることができた。
加古川地区	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の相談窓口ほほえみスペースの登録事業所として介護タクシーや薬局などの新たに4事業所が参画してくれた。相談窓口活用のために、イベント時に啓発活動を行った。
加古川西公民館エリア	<p>ウォーキングスタンプラリー「かこにし健幸ウォーキング」を開催し、地元企業、介護保険事業所などがエリア内のチェックポイントとして協力した。またそのチェックポイントを利用して、ふれあい交流会を実施した。</p>
加古川北（神野町）	<p>4町内会の民生委員が、ボランティアとして移動販売車を誘致し、買い物支援を実施した。また福祉事業所が「通いの場づくり」、「困りごとを相談できる場づくり」として出前講座を実施し、地域住民の生の声を拾うことができた。</p>
加古川北（新神野）	<p>新神野6丁目町内会で燃やすごみのゴミ出し支援を住民ボランティア5人で実施した。</p>
加古川北（八幡地区）	<p>多世代交流の機会としての「八幡ウォーキング&カフェ」イベントでは、八幡小学校の児童や立正学園のOBの大学生が地域ボランティアとして参加した。</p>
2) ふれあいサロン支援事業  (配分金 2-1-1)	<p>サロン運営上の課題や困り事などを共有し、解決へ向けての情報を提供した。</p> <p>市内地域包括支援センターが企画する「サロン世話人研修会」に協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加古川北地区サロン代表者研修会 <ul style="list-style-type: none"> 両荘地区 5月30日(火) 開催 加古川北地区 5月31日(水) 開催

事業項目	実施内容
<p>3) 支部活動への支援</p> <p>①支部活動費助成</p> <p>②青少年健全育成費助成 (配分金 1-4-4) </p>	<p>社協支部の地域福祉推進に活用することを目的として、社協会費納入額の 20%を助成した。</p> <p>児童や青少年の見守り、健全育成の推進を目的に社協支部ごとに社協会費納入額の 10%を助成した。</p>


重点目標2



認め合い、ささえあいの輪が広がる人づくり





- (1) 若い世代を対象に、ボランティアの役割や必要性、活動の魅力を伝える福祉学習を進めます。
- (2) 定年退職後の元気高齢者等に、地域でのつながりづくりやボランティア活動、地域活動に参加するきっかけづくりを提供します。
- (3) 当事者の思いを伝える機会や当事者と住民とのつながりづくりの機会を提供します。(持っている力が発揮できる機会づくり)
- (4) 子育て中の親を対象とした魅力ある研修機会を提供します。子育て支援に取り組む団体(サークル・子ども食堂)の活動を支援します。
- (5) 活動希望者とニーズをつなぎ、ボランティア活動の活性化を図るしくみづくりを進めます。
- (6) 各種団体の情報を共有し合えるしくみづくりを進めます。








2. 認め合い、ささえあいの輪が広がる人づくり


- ・住民、団体、企業の福祉学習機会を創出し、誰もが互いに認め合い、ささえあいの輪が広がる人づくりを進めます。




事業項目	実施内容
1) ボランティア情報の発信 ①「社協だよりかこがわ」でボランティアに関する情報を掲載  (配分金 2-6-1) ②ホームページ、ブログ、LINE 公式アカウントによる情報発信 ③ボランティア掲示板の活用	「ボランティアナビゲーション」を掲載(4回) (5月号 No. 110・9月号 No. 111・11月号 No. 112・3月号 No. 113) LINE 公式アカウント友だち登録 321 人 ボランティア募集情報や助成金情報などを発信した。
2) ボランティア養成・研修 資料編 P. 1 ①啓発型 ②養成型 ③資質向上型	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ講座 8月23日(水) 参加者:15人 ・人生会議(ACP)研修 11月10日(金) 参加者:158人 ・傾聴ボランティア入門教室 11月21日(火)、28日(火) 参加者:19人 ・学生ボランティアの養成講座 KSV 8月3日(木)～11月18日(土) 参加者:14人 ・音訳(朗読)ボランティア養成講座 1月10日(水)～3月13日(水) ※毎週水曜日 全10回 参加者:16人 ・登録ボランティア研修会「ささえあいボランティアについて」 8月9日(水) 参加者:64人 ・分野別スキルアップ研修会
3) コーディネート事業 資料編 P. 2 ①ボランティアに関する相談受付 ②ボランティア調整 ③ボランティア登録の促進 ④登録グループ代表者会の開催	相談件数 455 件 調整件数 169 件 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ登録数:25 グループ 計 451 人 ・個人登録者数:65 人(うち新規 22 人) <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 5月19日(金)「つながりづくりのニュースポーツ体験」 ・第2回 8月9日(水)「登録ボランティア研修会」(再掲) ・第3回 3月8日(金)「分野別スキルアップ研修会の報告と共有」
4) 活動基盤づくり事業 ①ボランティア保険事務 ②ひょうごボランティア基金事務 ③活動資材の助成	加入者数 4,934 人 助成申請総数 49 団体 助成交付団体 42 団体 <ul style="list-style-type: none"> ・点字用紙 点訳ボランティアグループ 5 グループ ・朗読資材 朗読ボランティアグループ 4 グループ

事業項目	実施内容
④地域づくり応援成事業の実施(地域活動/子育て団体等への助成)  (配分金 1-1-1)	69 団体 計 1,380,000 円(1 団体上限 2 万円)
⑤ボランティアセンター運営委員会の開催(年 2 回)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回 11 月 13 日(月) ・第 2 回 3 月 1 日(金)
⑥各賞へのボランティア推薦	<p>ひょうご県民ボランティア活動賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人 前田義二さん(松風会)、大篠昭雄さん(松風会) ・団体 松風会 <p>兵庫県こうのとり賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大西暁生さん(絵手紙ボランティアはとぼっぽ)、島崎淳二さん(松風会) ・山根康彦さん(青葉会)、米子健一さん(青葉会)
5) 他機関・他団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫大学エクステンションカレッジ
①市民活動団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> (ボランティア依頼の確認)4 月 19 日(水) ・かこがわ市民団体連絡協議会 (総会出席、案内)5 月 27 日(土) (市民活動ふれあい広場)1 月 13 日(土) ・かこがわ市民団体連絡協議会とシミズシーズ (情報交換会)9 月 16 日(土) (事務局会議)1 月 31 日(水) ・シミズシーズ (事務局会議)3 月 18 日(月)
②行政(市民活動・ボランティア関連課)との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動推進課 (ボランティア依頼の確認)4 月 12 日(水) (かわまちイベント連絡会議)6 月 20 日(火) ・3 市 2 町ボランティアセンター連絡会 (情報交換、共有)12 月 25 日(月)、2 月 22 日(木)
6) 福祉学習推進事業	市内の幼・小・中・養護学校が地域住民などと連携、協働する
①地域で育む福祉教育推進パワーアップ事業の開催  (配分金 1-5-1)	<p>福祉学習の費用を助成した。</p> <p>23 校園 計 1,030,000 円 (中学校 7 校、小学校 11 校、養護学校 1 校、幼稚園 4 園に助成)</p>
②福祉学習出前講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・志方東小学校 講演「福祉ってなんだろう」(6/13) ・東神吉南小学校 講演「福祉ってなんだろう」(6/29) ・兵庫大学 講演「ボランティアセンターについて」(7/20) ・平荘小学校 講演「福祉ってなんだろう」(9/20)

事業項目	実施内容
③福祉学習指導ボランティアの調整	<ul style="list-style-type: none"> ・東神吉南小学校 PTA 聴覚障がい者理解(ろうあ協会) (8/24) ・尾上小学校 視覚障がい者理解(点訳グループすまいる) (9/29) ・氷丘小学校 聴覚障がい者理解(ろうあ協会) (10/11) ・浜の宮民生児童委員協議会 聴覚障がい者理解(ろうあ協会) (10/20) ・平岡南小学校 視覚障がい者理解(点訳グループ東公せせらぎ) (10/20) ・神野小学校 視覚障がい者理解(点訳グループあじさい) (11/10) ・神野小学校 視覚障がい者理解(視覚障害者福祉協会) (11/21)
④福祉器材の貸出、管理及び修繕  (配分金 2-5-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす(24 件)、アイマスク(17 件)、白杖(21 件)、点字盤(12 件)、点字ブロック(13 件)、高齢者疑似体験装具(24 件)、その他(3 件) <u>計 114 件</u> ・管理及び修繕 高齢者疑似体験装具 18 組購入 高齢者疑似体験装具(ひじ用/ひざ用サポーター)各 5 組 点字ブロック(警告)15 枚 (誘導)24 枚
7) 社会教育・福祉教育推進員活動支援 (市教委との協働事業)  (配分金 1-5-2、2-5-1~3)	<p>地域で福祉教育を啓発、促進する福祉教育推進員を委嘱し、活動推進していくための研修会の開催や活動に対し助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12 公民館エリア 合計 389,000 円(1,000 円×389 人)
8) 市民福祉カレッジ  (配分金 2-1-1)	<p>市民が福祉について、より身近に感じてもらうきっかけづくりを目的にテーマを掲げた研修会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 月 10 日(金) 参加者:158 人 講師:(株)FAMORE 武田 拓也 さん テーマ:「老後も自分らしい生活をするために知っておきたいお金の話」
9) 災害対応支援	
①災害時支援ボランティア登録の促進	個人登録者数:30 人
②災害時相互協力協定締結団体等との定例会 (定例会 1 回/2 ヶ月)  (配分金 2-6-2)	<p>災害ボランティアセンター設置運営マニュアルを災害時相互協力協定締結団体と協議し改訂した。</p> <p>参加団体:(一社)加古川青年会議所、加古川バス株式会社 (公社)兵庫県柔道整復師会、加古川中央ライオンズクラブ 市高齢者・地域福祉課、市防災対策課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回 5 月 25 日(木) 出席者:17 人 ・第 2 回 10 月 19 日(木) 出席者:15 人
③災害ボランティアセンター設置運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川青年会議所との訓練 令和 6 年 3 月 9 日(土) 参加者:11 人

事業項目	実施内容
<p>10) 障がい児・者及び 団体へ支援</p> <p>① 障がい者団体連絡会事務局 (定例会 1 回/2 ヶ月)</p> <p>② ふれあい移送サービス事業  (配分金 2-3-1) 資料編 P. 3</p>	<p>障がい者団体との連携を通じ、課題の共有や取り組みを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回 5 月 23 日(火) ・ 第 2 回 7 月 25 日(火) ・ 第 3 回 9 月 28 日(木) 〈市長との懇談会〉 ・ 第 4 回 11 月 28 日(火) ・ 第 5 回 2 月 28 日(水) ・ 第 6 回 3 月 26 日(火) <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会 12 月 2 日(土) 参加者:75 人 テーマ:「知ってほしいなあ! 私たちのこと。」 講師:ピーす&ピース 矢野一隆さん ・ 研修会 3 月 15 日(金) 参加者:51 人 テーマ:「障害特性に合わせた接客・接遇学習会」 <p>市内在住で車いすを利用している高齢者や障がい者の会員に対して、通院などの送迎サービスを実施した。</p>
<p>11) 社会福祉活動助成金事業</p> <p>① 地域福祉活動  (配分金 1-1-3)</p> <p>② 高齢者福祉活動  (配分金 1-2-1)</p> <p>③ 障がい児・者福祉活動  (配分金 1-3-1, 2)</p> <p>④ 青少年育成事業  (配分金 1-4-1)</p> <p>⑤ 児童養護施設  (配分金 1-4-2)</p> <p>12) 子育て支援事業</p> <p>① 地域づくり応援助成事業 (再掲)</p> <p>② 大型絵本の貸出  (配分金 2-4-3)</p>	<p>市内の福祉施設及び福祉活動団体等へ助成することで、地域福祉推進活動の基盤づくりを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度 助成金交付 34 団体 計 3,301,000 円 1 団体 50,000 円 1 団体 500,000 円 15 団体 1,702,000 円 15 団体 920,000 円 2 団体 129,000 円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 6 年度要望受付 32 団体 計 3,300,000 円 <p>69 団体 計 1,380,000 円</p> <p>貸出件数 49 件 計 106 冊</p>

事業項目	実施内容
<p>13) こども居場所づくり 推進事業 〈新規 市受託事業〉</p> <p>①総合相談窓口の設置</p> <p>②こども食堂関係者との連携</p> <p>③新たな担い手の発掘</p> <p>④研修会の開催</p> <p>⑤食材提供体制等の構築</p> <p>⑥こども食堂に関する情報収集・発信</p> <p>⑦加古川市が実施する補助金制度の相談・受付</p>	<p>市内のこども食堂活動を支援するため、こども食堂推進員（仮称）を設置し、以下の事業を実施した。</p> <p>相談件数 126 件 相談内容 新規立上げ、活動希望、食材提供、寄付他</p> <p>訪問件数 43 件(こども食堂開催日) 来館件数 110 件(相談、食材引き渡し) 電話・メールなどでの相談件数 223 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回こども食堂ネットワーク会議 9月29日(金) ・第2回こども食堂ネットワーク会議 2月28日(水) <p>新規立上げ件数 2 件 立上げにむけた相談件数 49 件</p> <p>こども食堂運営者研修会 3月28日(木) 参加者:16人</p> <p>食材提供調整件数 169 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに市内こども食堂情報発信ホームページを開設 ・各団体補助金情報案内 相談件数 109 件 受付件数 51 件 ・社協だより掲載(9月号・1月号) ・のぼりを製作し、ネットワーク登録団体へ提供 <p>相談件数 77 件 受付件数 26 件</p>
<p>14) 児童・青少年活動支援</p> <p>①交通遺児支援事業</p> <p>②児童養護施設卒業生支援事業</p> <p>③加古川市少年善行賞表彰事業  〈配分金 2-4-1〉</p>	<p>児童・青少年に関する支援事業などを実施する。</p> <p>父または母を亡くした小中学校在学中の児童及び生徒を激励し、福祉の増進を図ることを目的に、7月に図書カードを贈った。卒業時の3月にはクオカードを贈った。 7月：小学生3人 3月：小学生1人</p> <p>児童養護施設を退所する卒業生5人に、進学や就職に向けての準備・自立支援としてクオカードを贈った。</p> <p>他の模範となる善行を行った児童生徒に対し「加古川市少年善行賞」を授与した。</p>

事業項目	実施内容
④重点巡視(危険)箇所調査事業  (配分金 2-4-2)	重点巡視(危険)箇所実施活動報告書作成費用を助成した。
⑤修学旅行扶助事業  (配分金 2-4-4) 資料編 P. 4	38校 計 2,023,100 円 ・小学校 25校 759,100 円 ・中学校 12校 1,189,000 円 ・養護学校 75,000 円
15) 高齢者福祉活動支援  (配分金 2-2-1)	長寿高齢者表敬訪問事業 市内最高齢者(男女)と満100歳の方々を表敬訪問した。

重点目標3

誰もが安心して相談できる

支援ネットワークづくり

- (1) 困りごとを見逃さない、アウトリーチも含めた相談支援体制の強化に努めます。地域の実情や社会資源についての情報が円滑に共有され、連携を深められるよう努めます。
- (2) 誰もが安心して相談できる環境づくりに努めます。事務局内連携をはじめ、様々な関係機関とともに相談支援体制の充実やネットワークづくりを進めます。
- (3) 災害時支援等、公的な制度・サービスでは支えきれない問題に対して、様々な関係機関とともに、支援方法の検討が進むよう働きかけます。
- (4) 当事者の困りごとを受け止め、必要な支援専門機関につながるよう働きかけるとともに、地域全体で支えられるしくみづくりについて検討します。

3. 誰もが安心して相談できる支援ネットワークづくり

- ・あらゆる相談を一度受け止め、相談者が安心してできる支援の仕組みづくりを進めます。
- ・様々な支援の重層的な仕組みづくりを進め、切れ目のない支援ネットワークの構築を目指します。

事業項目	実施内容
<p>1) 成年後見支援センター事業 〈市受託事業〉 資料編 P. 5</p> <p>① 広報・啓発事業</p> <p>② 相談支援事業</p> <p>③ 成年後見制度利用促進事業</p> <p>④ 後見人支援事業</p> <p>⑤ 関係機関等連絡調整事業</p> <p>⑥ センターの管理運営事業</p>	<p>成年後見制度の利用促進を目的に、加古川市より成年後見支援センターを受託し、以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社協ホームページ、社協だより『かこがわ』紙面で成年後見制度のよくある質問を掲載した。 ・ 出前講座の実施 11回 ・ 地域包括支援センターかこがわ南主催の出張相談 5回 ・ 成年後見制度や権利擁護に関する相談対応 1,916件（延べ） ・ 地域ケア会議等への出席（随時） ・ 専門相談の実施 72人（延べ） ・ 市長申立に向けた所管課との同行訪問及び情報共有 ・ 3士会（弁護士会、司法書士会、社会福祉士会）への申立て代理・代行依頼及び受任候補者推薦依頼 ・ 申立から携わるケースの継続支援 ・ 親族後見人の定期報告の作成支援 ・ 日常生活自立支援事業と連携した適切な制度活用（成年後見制度への移行1件） ・ 神戸家庭裁判所姫路支部との情報交換会（2回） ・ 行政書士との意見交換会 ・ 市所管課との月例報告会（月1回） ・ 事業調整委員会の実施 5月23日（火）、8月21日（月）、11月13日（月）、1月22日（月）
<p>2) 日常生活自立支援事業 〈県社協受託事業〉 資料編 P. 7～8</p> <p>① 相談及び支援に関すること</p> <p>② 生活支援員の派遣</p> <p>③ 日常的な金銭の管理や通帳、印鑑、公的書類の預かり</p>	<p>福祉サービスの選択に不安がある人に、生活支援員を派遣し、適切に福祉サービスが利用できるよう援助した。（①～⑤） また、独自の支援についても調査研究をした。（⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談受付、検討会議の開催（随時） ・ 支援回数 400件 ・ 契約人数 44人（内9人解約） ・ 契約内容又は支援計画などの変更 8件（延べ）

事業項目	実施内容
④生活支援員等のスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・専門員、担当者会議及び研修への参加（資料編参照） ・生活支援員養成講座 2月19日（月）、3月5日（火）参加者19名
⑤成年後見支援センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談対応やケース会議などでの事業説明の実施 ・市役所各課への情報提供 ・成年後見支援センターと一体的な広報の実施（出前講座など） ・地域ケア会議など各種会議への出席 ・成年後見制度への移行に関する調査と連携
⑥独自の権利擁護支援に関する調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ・独自支援に関する調査研究の実施 福岡市社協、北九州市社協、総社市社協、八尾市社協、明石市社協視察
3) 生活福祉資金貸付事業 〈県社協受託事業〉	<p>一般的な貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者・高齢者世帯の生活を経済的に支え、社会的自立を促進するため、次の事業を行った。</p>
①広報活動	<p>社協だよりへの記事掲載のほか、市内の各中学校を訪問し、進路担当教諭などへ教育支援資金について制度説明を行い、周知に努めた。</p>
②貸し付けに関する相談 資料編 P. 9	<p>自立相談支援機関（福祉事務所）、基幹相談支援センター及び地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談・申請に係る対応人数 2,187人（延べ） ・相談・申請に係る対応件数 6,456件（延べ） <p>また、生活福祉資金担当者会議、研修会に参加したほか、関係機関が集まる自立支援調整会議に参加し、さまざまな支援の可能性について検討した。</p>
③償還に関する相談支援の強化 (新型コロナウイルス関連含む)	<p>貸付後も世帯の自立及び生活の安定のため、継続的な相談支援を行った。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス特例貸付の借受人に対しては、郵送にて償還免除や猶予手続きなど償還に関する相談支援について案内し、問い合わせや相談に応じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談・申請に係る対応人数 6,793人（延べ）

事業項目	実施内容
④民生委員・児童委員との連携	生活福祉資金貸付事業について地区民児協定例会で説明し、民生委員・児童委員との丁寧な情報共有に努めた。
⑤多機関協働による世帯の自立支援のための相談強化	市生活福祉課くらしサポート相談窓口と定期的に情報交換会を実施しているほか、市家庭支援課、市障がい者支援課、学校、あかし若者サポートステーションなどの支援機関と連携し、既存の制度では解決できない課題に対する支援を行った。 くらしサポートとの情報交換会 6月22日(木)、8月24日(木)、12月21日(木)
⑥生活困窮者支援体制強化事業の実施	生活困窮者支援体制強化事業のための職員を配置した。 新型コロナウイルス特例貸付の借受人を対象に生活状況に関するアンケートを実施した。アンケート結果では、回答者の約93%が何らかの困りごとがあると回答し、今後の生活について社協の支援を希望すると回答した人が回答者の約78%であった。 また、同借受人などへ生活相談の案内を発送し、食料支援を含めた相談支援を行った。 さらに、他市町社協からの情報収集及びヒアリング実施のため、視察を行った。
4) 計画相談支援事業 (特定相談支援事業・ 障害児相談支援事業) 資料編 P.10～11	障がい児・者及び家族からの相談に応じ、障害福祉サービスの利用計画の作成やモニタリング、また各種社会資源の活用支援、専門機関等との連携を通じて、利用者の自立した生活を支援した。
①積極的な新規相談への対応	新規の相談は可能な限り、対応できるように努めた。
②増収に関する取組	相談支援の給付費に併せて、サービス提供時モニタリング加算など各種加算も取得し、増収に努めた。
③虐待防止マニュアルの作成	8月22日(火)に外部委員を含めた第1回目の虐待防止委員会を開催し、虐待防止マニュアルの作成に向けた確認を行った。
④人材育成	新任の相談支援専門員に同行訪問などを通して、スーパービジョンを実施した。 業務上取得すべき内容の相談支援に関する研修、相談支援専門部会、スーパービジョン相談支援専門連絡会の機会に、担当職員が参加することで、他相談支援事業所などとの交流や情報共有を図れたことにより、ステップアップができる機会を設けた。
⑤多職種連携	他機関の役割機能を学ぶことで多職種連携をすすめ、相談支援の振り返りとスキルアップ目的に研修会を開催した。 ・「教育と福祉の連携」 11月7日(金) 講師：市教育相談センター ・「ホームレス状態を生み出さないために社協職員としてできること」2月6日(火) 講師：NPO 法人 Homedoor

事業項目	実施内容
⑥ICT化の推進	業務の効率化、事務負担軽減のために、訪問時にタブレットなどの機器を活用した相談支援を行った。
⑦実地指導への対応	6月15日(木)に市の実地指導を受け、是正及び改善を要する事項についての処置を行った。
5) 総合相談事業	あらゆる生活課題に対応するというスタンスに立って、幅広い相談を受け付け、他機関につなぐことも含めて、相談支援を進めた。
①総合相談	
②食料品等支援整備事業「つながりの輪～食のかけはしプロジェクト」	<p>失業などの理由により生活困窮状態となり、食料品の購入が困難な人に、民生委員・児童委員や家庭支援課などの行政、地域包括支援センター等の関係機関と連携をしながら、食料品等を提供した。</p> <p>子ども家庭庁補助事業や兵庫県共同募金会などの助成金を活用し、食料品、日用品、衣料品などを購入し、支援の環境整備を進めた。</p>
③生活一時資金貸付事業	<p>生活福祉資金など既存の制度では対応しきれない生活困窮者等に対して、必要に応じて生活費や公共料金分の費用の貸付を行い、生活の安定を図れるよう支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数 4 件
④独自の支援に関する事業	<p>貧困の連鎖を防ぐための支援や障害のある人の災害時の支援に関する事業を実施した。</p> <p>【参考】 令和 5 年 10 月 1 日より独自支援事業開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用電源装置等購入費助成 助成件数 1 件
6) 基幹相談支援センター事業 〈市受託事業〉 資料編 P. 12～16	<p>障がい児・者の生活に関する相談に応じた情報提供や助言、必要な福祉サービスの利用支援などを実施した。</p>
①総合的、専門的な相談支援の実施	<p>障害の有無や障害種別に関わらず、障害福祉全般に係る相談に応じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数：4,625 件 ・新規相談の人数（実人数）：232 人 ・開設からの総ケース数（実人数）：2,516 人 <p>※匿名相談の受付を含むため、ケースが重複している可能性あり</p>

事業項目	実施内容
②地域の相談支援体制の強化	<p>相談支援事業所や関係機関からの相談に指導・助言をするほか、市内相談支援事業所に対しスーパービジョンを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内相談支援事業所などへの指導・助言：278件 ・グループスーパービジョン スイミーの会：11回 Hoalohaの会：9回 ・主任相談支援専門員が県内の相談支援専門員養成研修の講師（グループ講師）ならびに初任者研修インターバル期間における受け入れ対応を担った。
③地域移行、地域定着の促進	<p>従来からの健康福祉事務所主催の会議や研修会などへの出席、兵庫県相談支援ネットワークが開催する同テーマの研修に企画段階から協力参加し、専門性の向上と連携強化による体制整備を進めた。</p> <p>また、精神障害者の入院から地域移行、その後の生活について、医療・保健・福祉等を中心とした各機関の支援の流れや役割等を共有し、顔の見える関係づくりを目的とした研修を企画し開催した。</p> <p>『精神障害者の地域での生活』 日 時：令和6年3月14日（木） 14：00～16：00 講 師：東加古川病院 地域連携室長 宮川美好さん 相談支援事業所は～とふる 中山三佳さん 加古川市障がい者基幹相談支援センター 田口弥生 参加者：医療、保健、警察、福祉関係等 18人</p>
④権利擁護、虐待の防止	<p>令和5年度 障害者虐待防止研修の企画を検討した。</p> <p>日 時：令和5年12月7日（木） 13：30～15：30 講 師：弁護士 三好登志行さん 兵庫県（障害者権利擁護担当） 松原裕樹さん 参加者：福祉事業所等 59人</p>
⑤市障害者自立支援協議会への参画及び専門部会の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・市障害者自立支援協議会全体会への参加 ・市障害者自立支援協議会の3つの専門部会（くらし・こども専門部会、しごと・差別解消専門部会、相談支援専門部会）の事務局業務を担当するほか、部会員としても参加した。

事業項目	実施内容
⑥地域生活支援拠点等の整備	<p>障害のある方も住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるよう総合的な整備を進めるため協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援（地域移行・定着支援による常時連絡体制など） ・体験の機会・場の提供（障害福祉サービスやグループホームの体験利用など） ・緊急時の受け入れ・対応（短期入所などでの受け入れや医療機関への連絡など） ・専門的人材の確保・養成（医療的ケアや強度行動障害などへの対応など） ・地域の体制づくり（ニーズに即したサービス提供や体制整備など） <p>また東播磨圏域コーディネーターの協力も得ながら、基幹相談支援センターの専門性を生かした障害分野からの地域づくり、多職種間の連携・協働、強度行動障害の専門的な支援体制の確保や人材の養成に取り組むための体制整備などを進め、課題の共有から研修の開催などを行った。</p> <p>【地域の体制づくり】 『つなぎ育てる 地域（まち）づくり ～地域を基盤とした支えあいの仕組み～』 日 時：令和5年5月18日（木） 13：30～16：00 講 師：大阪公立大学教授 野村恭代さん NPO法人ケアット代表 岡本芳江さん 加古川市障がい者基幹相談支援センター 田口弥生 参加者：民生委員・児童委員、行政、福祉関係等 65人</p> <p>【多職種協働】 『発達障害のある方への支援について～連携・協働～』 日 時：令和6年1月25日（木） 13：30～15：30 講 師：ひょうご発達障害者支援センタークローバー 山内雅樹氏 参加者：民生委員・児童委員、行政、福祉関係等 49人</p> <p>体験の機会・場の提供】 『グループホームサポートシート完成記念研修会』 日 時：令和5年7月14日（金） 13：30～15：30 内 容：BCP 策定支援セミナーとグループホームサポートの紹介・意見交換会 参加者：グループホーム職員、医療関係等 25名</p>

重点目標 4

社会福祉協議会の機能強化に向けた基盤づくり

- (1) 社会福祉協議会の事業が広く市民に周知され、身近で信頼される組織を目指します。
- (2) 地域福祉の推進の使命をはたすべく、社会福祉協議会の役割、機能を明確にし、より分かりやすく親しみやすい活動を展開します。
- (3) 福祉の専門機関として資質の向上と人材の育成に努め、組織力を強化します。
- (4) 事業の充実を図るため、経費の効率的な執行と公費の安定的な確保をはじめ、市民協力による会費、寄附金、事業収入等による自主財源の確保に努めます。


4. 社会福祉協議会の機能強化に向けた基盤づくり


地域住民の声を反映し、地域福祉の推進を担う健全な組織運営に努めます。

事業項目	実施内容
<p>1) 組織体制の強化 資料編 P. 17～22</p> <p>①理事会・評議員会の開催</p> <p>②社協支部長会の開催</p> <p>③各委員会の開催</p>	<p>理事会を業務執行機関、評議員会を議決機関と位置づけ、組織のガバナンス強化や経営の透明性を向上させている。また、理事・評議員に社協運営について関心を深めてもらうとともに、各種委員会の効率的な運営及び委員会の活性化を推進するため、再編成した。</p> <p>第1回 理事会 6月 5日(月) 第2回 理事会 6月 26日(月) 第3回 理事会 8月 7日(月) 書面決議 第4回 理事会 9月 25日(月) 第5回 理事会 11月 27日(月) 第6回 理事会 1月 29日(月) 第7回 理事会 3月 18日(月)</p> <p>第1回 評議員会 6月 26日(月) 第2回 評議員会 10月 16日(月) 第3回 評議員会 12月 18日(月) 第4回 評議員会 3月 27日(水)</p> <p>ささえあい協議会や小地域福祉活動をはじめとした社協の取り組みには、町内会組織の協力は不可欠である。そのため地区町内会連合会を社協支部と位置づけ、社協事業への理解を求めた。(25支部) 社協支部長会議 6月 19日(月) 開催</p> <p>・広報委員会 社協だよりかこがわに関すること 第1回 5月 22日(月)「社協だより かこがわ」第278号 第2回 7月 24日(月)「社協だより かこがわ」第279号 第3回 9月 20日(水)「社協だより かこがわ」第280号 第4回 11月 22日(水)「社協だより かこがわ」第281号 第5回 1月 23日(火)「社協だより かこがわ」第282号 第6回 3月 22日(金)「社協だより かこがわ」第283号</p> <p>・総務委員会 (善意銀行運営委員会、基金積立管理運用委員会、社会福祉活動助成金事業を統廃合) 第1回 7月 5日(水) 第2回 8月 4日(金) 書面決議 第3回 3月 11日(月)</p> <p>・事業委員会 (地域福祉推進委員会と児童・青少年健全育成委員会を統廃合) 第1回 10月 2日(月)、第2回 1月 15日(月)</p>

事業項目	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター運営委員会 第1回 11月13日(月)、第2回 3月1日(金) ・経営検討委員会 第1回 10月23日(月) 第2回 1月22日(月) 第3回 3月21日(木) ・計画相談虐待防止委員会 第1回 8月22日(火)、第2回 2月7日(水) ・職員衛生委員会 令和5年6月1日時点で、常時使用する労働者が50人以上の事業所となったため、職員衛生委員会を設置した。職員衛生委員会では、職場の安全や労働者の健康を維持・増進するために、職場環境の改善などについて協議した。 第1回 6月6日(火) 第6回 11月7日(火) 第2回 7月4日(火) 第7回 12月7日(木) 第3回 8月1日(火) 第8回 1月9日(火) 第4回 9月5日(火) 第9回 2月8日(木) 第5回 10月5日(木) 第10回 3月7日(木) <p>④監事監査の実施 法人の業務執行及び財産の状況について監査を行い、理事会及び評議員会で報告した。実施日：5月24日(水)</p> <p>⑤社協全戸会員制度の周知 社協の理念や取り組みを様々な機会を通じて住民に周知した。(広報紙「社協だより かこがわ」、支部長会議などで説明)</p> <p>⑥行政担当課との連携 加古川市の地域福祉を充実させるため、担当課と定期的に情報交換を行い、それぞれの強みを生かした事業を展開している。</p> <p>⑦社会福祉法人連絡協議会の運営と連携 加古川市社会福祉法人連絡協議会に加盟する法人相互の連携と協働により、社会貢献事業に取り組むことを目的に役員会及び事業企画委員会において協議している。 加盟法人：42法人(高齢・障害・保育・児童分野) 総会 7月24日(月) 13:30～14:30 第1回 役員会 5月11日(木) 18:00～19:20 第2回 役員会 7月14日(金) 18:00～19:00 第3回 役員会 2月29日(木) 18:00～19:30 事業企画委員会 毎月第3火曜日 13:30～15:30 (年間11回)</p>

事業項目	実施内容																								
<p>⑧組織内の連携強化</p> <p>⑨職員の地域担当制の実施</p> <p>⑩業務継続計画（BCP）の策定及び運用</p> <p>⑪ICTの活用及び充実化の検討</p> <p>2) 財源の確保と有効活用 ①社協会費制度の整備</p>	<p>福祉施設における災害への備えを考える研修会 7月24日（月）14:40～16:30 参加者：71人 テーマ：「熊本地震を経験して ～福祉施設はどのように対応したか～」 講師：NPO 法人たんぽぽハウス 副理事長 上村加代子さん 施設長 廣瀬るみ子さん モデル施設による福祉避難所開設訓練（エリア別訓練） 11月15日（水）14:00～15:00 41人 実施施設：鶴林園（加古川西エリア） （加古川市との共催）</p> <p>幹部会議、局内会議、事業推進会議を定期的に開催し、事務局内の情報共有と連携強化に努めている。</p> <p>地域福祉担当職員を配置し、住民にとって社協が身近な相談窓口となる体制を整えた。</p> <table border="1" data-bbox="600 909 1417 1274"> <thead> <tr> <th>地区民協名</th> <th>担当係</th> <th>地区民協名</th> <th>担当係</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加古川</td> <td>権利擁護支援係</td> <td>加古川北</td> <td>地域福祉推進係</td> </tr> <tr> <td>氷丘</td> <td>相談支援係</td> <td>両庄</td> <td>まちづくり・ボランティア推進係</td> </tr> <tr> <td>野口</td> <td>相談支援係</td> <td>加古川西</td> <td>総務係</td> </tr> <tr> <td>平岡</td> <td>権利擁護支援係</td> <td>志方</td> <td>まちづくり・ボランティア推進係</td> </tr> <tr> <td>浜の宮</td> <td>相談支援係</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>自然災害及び感染症に対する業務継続計画（BCP）を策定した。次年度には計画に基づく訓練等を実施する。</p> <p>サイボウズ等を導入し、円滑な情報共有、業務の効率化を図っている。また、同社キントーンアプリの拡充等を視野に入れながら、その他 ICT の研究を進めている。</p> <p>一般会費・賛助会費を広く周知し、市社協運営に必要な自主財源の確保に努めている。 広報紙「社協だより かがわ」No. 277(5月号)に依頼内容を記載した。</p>	地区民協名	担当係	地区民協名	担当係	加古川	権利擁護支援係	加古川北	地域福祉推進係	氷丘	相談支援係	両庄	まちづくり・ボランティア推進係	野口	相談支援係	加古川西	総務係	平岡	権利擁護支援係	志方	まちづくり・ボランティア推進係	浜の宮	相談支援係		
地区民協名	担当係	地区民協名	担当係																						
加古川	権利擁護支援係	加古川北	地域福祉推進係																						
氷丘	相談支援係	両庄	まちづくり・ボランティア推進係																						
野口	相談支援係	加古川西	総務係																						
平岡	権利擁護支援係	志方	まちづくり・ボランティア推進係																						
浜の宮	相談支援係																								

事業項目	実施内容
②善意銀行の広報活動	住民、企業、団体などへ広報し、善意の預託を受け、必要とする福祉事業に役立っている。
	預託状況は、広報紙「社協だより かこがわ」No. 277～No. 282 毎号に記載した。
	預託額 3,788,209 円(133 件) (4 月 1 日～3 月 31 日分)
③共同募金運動への協力	加古川市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金運動に協力し、配分金を地域福祉の充実に向けて有効活用している。
④基金積立金の効果的運用	計画的に基金を運用している。
⑤自主財源の確保に向けた調査・研究	既存財源の確保に努めつつ、安定した自主財源の確保をめざし、募金百貨店事業の導入など、新たな取り組みに向けた調査、研究をしている。
3) 公的事業の積極的受託	
①補助事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人運営事業 (加古川市) ・ 地域見守り事業 (加古川市) ・ ボランティアセンター事業 (加古川市)
②受託事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活自立支援事業 (県社協) ・ 生活福祉資金貸付事業 (県社協) ・ 生活支援体制整備事業 (加古川市) ・ 基幹相談支援センター事業 (加古川市) ・ 成年後見支援センター事業 (加古川市) ・ 総合福祉会館の指定管理事業 (加古川市) ・ 加古川市こどもの居場所づくり推進事業 (加古川市)
4) 広報力の強化による	
社協活動のPR	
 (配分金 2-1-2、2-7-2)	
①パンフレット・リーフレットの作成と活用	地域住民の社協活動への理解を図るため、社協パンフレット「社協のごあんない」を更新し、事業紹介や福祉情報を提供した。
②広報紙「社協だより かこがわ」の発行	全戸配布である広報紙「社協だより かこがわ」の内容を充実させ、地域住民により分かりやすい福祉情報を提供した。
	また、No. 277(5 月号)で読者アンケートを実施した。読者の意見を参考に、幅広い世代へ関心が高まるよう、より読みやすい広報紙づくりに努めた。
③ホームページの掲載内容の精査とリニューアル	ホームページの更新に向けて、現在のホームページの現状と課題の確認、他市社協の状況や制作会社について情報収集をしている。

事業項目	実施内容
④社協見える化の取り組み	<p>他機関との交流・社協活動説明の機会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協活動理解促進のためのプロモーションDVDを活用している。 ・社協の出前講座を実施し、地域や団体の学習会に出掛けている。 ・社協のマスコットキャラクターである「ふくくん かこちゃん」の着ぐるみやキャラクターグッズを活用し、PRに努めている。
⑤多様な伝達手段の活用	<p>新聞、ケーブルテレビ、ラジオ、ミニコミ誌などに積極的に情報提供するほか、社協 Facebook、Instagram を活用した。</p>
5) 職員養成による組織力の強化  <small>〈配分金2-1-3〉</small>	<p>「職員の健全な育成」及び「組織運営の強化」を図るため、目標管理や職員研修をはじめとする人材育成に取り組んだ。</p>
①人材育成に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・目標管理制度の実施 各職員が業務、コミュニケーション及び育成などの目標を明確にし、上司と部下が共通の認識を持つことで、組織の活性化や課題解決、人材育成などの推進を図った。 目標設定：6月、面談：6月・10月・2月 ・階層別研修の実施 新任職員研修…4月3日（月）、4名受講 4月27日（木）～28日（金）、3名受講 6月1日（木）、1名受講 監督職員研修…9月20日（水）、1名受講 管理職員研修…7～8月、1名受講 ステップアップ研修（中堅職員研修）…11名受講 ・特別研修の実施 人権・倫理研修…7月19日（水）、26日（水） 情報セキュリティ研修、交通安全研修 …11月6日（月）、9日（木） ・新任職員育成制度 育成指導員（エルダー）を配置し、新任職員の指導及び教育等を行った。 ・ハラスメント防止対策 ハラスメントのない明るい職場づくりを進めるため、規程や相談窓口を周知した。
②人事労務管理の充実 6) 地域福祉推進計画の推進	<p>第4期地域福祉推進計画の遂行と進捗状況の確認 <small>〈令和3年度から令和8年度まで〉</small></p>

事業項目	実施内容
<p>7) 総合福祉会館の指定管理業務 資料編 P. 23</p> <p>8) トライやるウィーク及び 実習生受け入れ</p>	<p>地域住民の福祉向上と健康の増進を図ることを目的に、効率的かつ効果的に指定管理業務を行う。また「意見箱」を設置することで利用者の声を聞き、誰もが利用しやすい施設を目指した。 (指定期間：令和2年4月1日から令和7年3月31日まで)</p> <p>ふれあいサロン活動やボランティア活動等の体験学習を通じて、地域福祉に関する学びの場を提供した。また、実習を通し次世代の福祉を担う人材を育成している。</p> <p>トライやるウィーク 6月5日(月)～9日(金) 加古川中学校 2名 中部中学校 2名 受け入れ</p> <p>社会福祉士をめざす学生のソーシャルワーク実習を受け入れ、福祉人材の育成に取り組んだ。 8月7日(月)～9月15日(金) 武庫川女子大学 1名 神戸学院大学 1名 関西学院大学 1名 関西福祉大学 1名 2月13日(火)～2月24日(木) 神戸女子大学 1名</p>